



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第159号
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和5年11月24日



【今月のピックアップ！】

- ① 障害者アート×阪神・オリックス優勝パレード
- ② ユニバーサルスポーツ分科会を開催しました

【手話カフェ】

- ③ 直接 受けとめよう

【イベント・募集】

- ④ **+NÜKÜMORİ** (プラスぬくもり)マルシェを開催します！
- ⑤ ドリームカフェにて「福島県産品応援メニュー」を提供中！
- ⑥ 障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」の作品を募集します
- ⑦ ひょうごふるさと寄附金を募集しています
「障害者(児)スポーツ等応援プロジェクト」「小児筋電義手」
- ⑧ 『U5H tanka』募集中！

【お知らせ】

- ⑨ パラスポーツ体験会・パラスポーツ交流会の開催のお知らせ
- ⑩ 「ひょうごスウィーツ甲子園」商品コンテスト受賞作品
- ⑪ 障害者芸術作品巡回展のお知らせ
- ⑫ 「兵庫県障害者アートギャラリー」の催し
- ⑬ 福祉のまちづくり研究所創設 30 周年記念式典の開催
- ⑭ キッザニア甲子園で「障害児等の職業体験」の実施
- ⑮ ひょうご福祉事業所フェスティバルの開催
- ⑯ 兵庫県点字図書館からのお知らせ



① 障害者アート×阪神・オリックス優勝パレード

昨日の阪神・オリックス優勝パレードはとても盛り上がりましたね。テレビの生中継を観ていた方も多かったと思います。

あの日、パレードの中で起きた数分間のドラマの話をしたいと思います。

話はさかのぼって今年7月、県の障害者芸術文化祭受賞作品×片山工房作品展の会場で、知事が片山工房の杉山さんが描かれた「吠えるトラ」を気に入ってインスタに掲載しました。

杉山さんは「トラの絵」ばかりを描いているわけではありませんが、スターバックス甲子園駅前店にも、杉山さんの「トラの絵」が飾ってあります。偶然訪れた知事が再びインスタに掲載したところ、杉山さんが新作を県に寄贈して下さることになり、時期が重なって、阪神・オリックス優勝パレードのオープニングイベントで受け取ることとなりました。

これには杉山さんも、お母さまもびっくりです。

新作「タイガー」をお渡しする時間は、ほんの数分でしたが、ご本人も片山工房のスタッフの皆さんも記念になる1日だったのではないのでしょうか。

この「タイガー」という虎の絵は、これまで阪神タイガースの活躍を見守ってきました。これからは、阪神タイガースだけではなく、県民の皆様を温かくそして力強く見守ってくれることだと思います。

なお、作品の除幕式を27日月曜日9時30分から県庁2号館ロビーで行います。ひきつづき展示しますので、ぜひ足を運んでいただき、迫力ある「タイガー」を間近でご覧ください。

② ユニバーサルスポーツ分科会を開催しました

本年10月に、兵庫県のスポーツ行政の新展開について検討する「HYOGO スポーツ新展開検討委員会」が新たに発足し、同委員会に障害者スポーツの振興について専門的な協議を行う「ユニバーサルスポーツ分科会」が設置されました。

この分科会では、2024年5月開催の世界パラ陸上神戸大会等

を契機とした、障害者スポーツの振興を通じた共生社会の実現に向け、①障害者スポーツの普及、②アスリートの発掘・育成・強化、③障害者スポーツ指導者等の養成のあり方、④障害者スポーツ拠点施設のあり方、⑤福祉部局にある障害者スポーツ推進体制などについて、本県のより一層の障害者スポーツ振興のあり方を総合的に検討することとしています。

このたび第1回目の分科会を委員全員の出席のもと下記のとおり開催し、活発な意見交換がなされました。今年度6回程度開催し、同委員会への意見・提案を経て、同委員会から知事に提案書が提出されることとなります。

◇ 第1回詳細

■日 時:11月15日(金)13:00~15:00

■場 所:兵庫県民会館7階「鶴」

■参加者:委員10名(対面8名、オンライン2名)

内訳 (有識者1名、障害者スポーツ振興団体2名、地域拠点1名、障害者団体3名、一般スポーツ団体1名、パラアスリート2名)

■内 容:座長選出:増田和茂(県障害者スポーツ協会理事長)
障害者スポーツの現状と課題、論点整理

(主な委員発言)

- ・普及に向け、障害者、健常者両者への啓発にしっかり取り組むべき
- ・一般の健常者の大会でも障害者の参加枠拡大に取り組むべき
- ・障害者スポーツに関心が高い大学との連携も検討すべき
- ・活動の強化には、指導者協議会とスポーツクラブ21との連携が重要
- ・施設の新築、改修の場合、設計段階から障害を有する当事者が参画するようにすべき

◇ 今後のスケジュール

第2回(三木市でのパラスポーツ交流会及びパラスポーツ体験会視察:11月8日実施済)、
第3回(11月27日)、第4回(12月中旬)、第5回(R6・1月)、
第6回(R6・2月)

③【手話カフェ】 直接 受けとめよう

先月は「直接話そう・話したい」というテーマで書きました。

今回はその続き…といたしますか、もう一つ聴覚障害の方からよく聞くお話がありますのでご紹介します。

聴覚障害は、外見だけでは聞こえにくいかどうかは判断が難しい障害です。そのため、道を歩いているときや外にいる時、耳の聞こえる方から道を聞かれたり、何か話しかけられたりすることがあるそうです。

そういう時、障害の程度や周りのうるささなどにより、何度か聞き返しても聞き取れなかった場合、最終的に耳が聞こえないことを伝えると、相手の方が「え……」と戸惑ったようになり、その次のアクションが3種類あると聞きました。

- ① え！とびっくりした後、そそくさと離れていく
- ② え……意外な顔をした後、黙ってしまう
- ③ え……のあと、何とかお話を続けようとする

皆さんはどのアクションでしょうか。

実際のところ、社会の中で聴覚障害者の数は多くはありません。そのため、相手の人が聞こえにくい人だろうと予測しながら話しかけることはほとんどないでしょう。だから、意外に感じて戸惑ってしまうことは仕方がないかもしれません。

自分がどの態度を取るかは皆さんがそれぞれふりかえていただくとして、聞こえない人は①から③の態度を取られた時にどのような気持ちでいるのでしょうか。

- ① のときは、やはりとても寂しく、不愉快な気持ちになるそうです。耳の聞こえない自分が悪いのだ、仕方がない…という思いを持つこともあるようです。
- ② のときは、戸惑っていることにこちらも戸惑ってしまい、申し訳ない気持ちになるそうです。
- ③ のときは、自分が聞こえないことを分かった上で話をしようとしていることに勇気づけられ、筆記道具やスマホを出したり、空書や指さしなどを活用したりして、笑顔でコミュニケーションできるそうです。

道で出会った人が、もし、耳が聞こえない・聞こえにくい人だったとしても、それをそのまま受け止めてみてください。そして、話しを

続けてください。そうしたら、どんなふうになればコミュニケーションできるのか、聞こえない人からアクションがあると思います。

出会いを楽しみましょう。

■「手話カフェ総集編」もぜひどうぞ！

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/shuwa_cafe1.html

④ +NÜKÜMORİ (プラスぬくもり)マルシェを開催します！

障害福祉サービス事業所で作られた商品の販売を促進するため、県内各地の約40箇所において、販売会を実施しています。

12月も、無印良品西宮ガーデンズ店や道の駅みつにおける出店、赤穂義士祭のイベントへの参加など多数予定しています。

実施日時など、詳しくは下記の兵庫県ホームページに随時掲載していきますので、ぜひチェックしてください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/shuroushien/nukumorimarushe.html>

⑤ ドリームカフェにて「福島県産品応援メニュー」を提供中！

兵庫県庁2号館1階で開設している「ドリームカフェ」において、9月より「福島県産品応援メニュー」を提供しております。

11月は、『福島県産代表と兵庫県産代表の夢のコラボ～両県のふるさとの味、きっと心やすらぐお品達～「んまえから食べてくんちえ定食』を絶賛発売中です！

ホッキ飯、メヒカリの甘酢あんかけ、甲南漬&長久保のしそ巻き、アオサとばちのお味噌汁の4品で、価格900円(税込み・プラス100円でドリンクもセット！)・1日10食限定の定食で11月末日までの販売となっております。

お近くに来られた際は、ぜひお立ち寄りください。

詳しくは下記の兵庫県ホームページに掲載していますので、ぜ

ひチェックしてください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/shuroushien/ream.html>

⑥ 「兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展」の
作品募集（出品の申込1月12日まで）

第19回兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展を令和6年3月に開催します。公募展で展示する作品を募集しますので、出品を希望される方は、令和6年1月12日までに県ユニバーサル推進課へお申し込みください。

■開催期間: 令和6年3月1日(金)～3月10日(日)

■会場: 兵庫県立美術館 ギャラリー棟3階 ギャラリー
(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1)

■募集作品: 絵画、書道、写真、工芸・その他(彫塑、立体作品、CGアート等) ※ 手芸、魚拓、珍木、盆石は除く。

■応募資格: 県内に在住する障害のある方

■応募方法: 募集要項をお読みいただき、申込書を県ユニバーサル推進課へ令和6年1月12日(月)までにご提出ください。

福祉施設入所者及び学校等通学者(児)は、それぞれの所属でまとめて、出品の申し込みをしてください。

◇募集要項・申込書はこちら

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_000000009.html

■お問合せ

兵庫県障害者芸術文化祭実行委員会

(兵庫県福祉部ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

⑦ ひょうごふるさと寄附金を募集しています

「障害者(児)スポーツ等応援プロジェクト」「小児筋電義手」

兵庫県のふるさと納税「ふるさとひょうご寄附金」のうち、障害者の社会参加を支援する2つのプロジェクトをご紹介します。

■障害者(児)スポーツ等応援プロジェクト

自らの障害を乗り越え、スポーツに打ち込む、輝く障害者アスリートに、障害者スポーツ用具の購入支援等を行います。

また、施設で集団生活を送る障害児に、発達や情緒の形成に寄与するスポーツ競技用具や積み木などの知育玩具・遊具の購入費、動物園や遊園地などでのレクリエーション活動経費を助成することで、子どもたちに“新たな経験”を届けるための支援を行います。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/zeitemplate.html>

■小児筋電義手バンクへの応援プロジェクト

筋電義手(きんでんぎしゅ)とは、筋肉が収縮するときを生じる微量の筋電位を利用して、本人の意思で指を動かせる電動の義手です。筋電義手は、お茶碗を持ってお箸で食べる、紙を持ってハサミで切るなどの両手での動作を可能にし、体のバランスを整えるなど、こどもの成長過程で様々な利点があります。

皆さまからの寄附により、事故や病気などによって手を失ってしまったこども達へ訓練用筋電義手の確保・貸出等を行います。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/bank.html>

■兵庫県のふるさと納税「ふるさとひょうご寄附金」全般についてはこちら

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/kihu01.html>

⑧ 『U5H tanka』募集中！〈11月30日(木)まで〉

「ふるさとを、みんなでつくる」をテーマに、県民皆さんの声で地

域の魅力を再発見する、兵庫五国連邦プロジェクト(U5H)の一環として、短歌を募集しています。

テーマは「あなたが感じた兵庫五国の魅力」。

学生時代の思い出や些細な日常など、ふと感じたこと、驚いたことを短歌にしてご応募ください。

選者には俳優・坂口涼太郎さんと、歌人・谷じゃこさんが参加。

普段から短歌を詠んでいる方だけでなく、年齢問わず初心者でもどなたでも大歓迎です。

この機会にぜひご参加ください。

【投稿方法】

下記 URL の専用フォーム「短歌を投稿する」から投稿
⇒<https://u5h.jp/tanka/>

⑨ パラスポーツ体験会・パラスポーツ交流会の開催のお知らせ

障害や多様性への理解を促進するため、2024年5月開催の世界パラ陸上神戸大会に向けた機運醸成の一環として、次代を担う子どもたちを主対象に、パラアスリートとの交流会・パラスポーツ体験会を県内5箇所で開催しています。

第1回目の西播磨、第2回目の北播磨に引き続き、第3回目を丹波で開催します。

- ・主催：兵庫県、兵庫県障害者スポーツ協会
- ・協力：神戸市
- ・参加者：施設近隣の特別支援学校、小中学校生徒の参加を予定

◇ 第3回詳細

■日時：12月15日(金)13:00～15:00

■場所：丹波市立春日体育センター

(丹波市春日町黒井496-2)

■参加者：兵庫県立氷上特別支援学校(中等部、高等部)

丹波市立春日中学校(1学年※調整中) 約100名

■内容：パラアスリート交流会・パラスポーツ体験会

講師：Red Eagles 兵庫

種目：電動車椅子サッカー

※その他、ボッチャ、シッティングバレー、
車イスレーサー体験コーナー等も設置

◇ 今後の予定

第4回淡路(洲本市:2月)、第5回阪神(尼崎市:3月)

◇ 兵庫県ホームページ

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/supokyoku.html>

⑩ 「ひょうごスウィーツ甲子園」商品コンテスト受賞作品

障害者が作るお菓子のコンテスト「スウィーツ甲子園」を11月14日に開催しました。

各事業所によるプレゼンテーションを踏まえ、各方面の専門家から味や原材料、パッケージデザイン等、様々な観点から評価とアドバイスをいただきました。

栄えある第15回のグランプリに輝いたのは、株式会社インコントラの障害福祉サービス事業所「ネイバース六甲」が製作した「bean to bar chocolate(ビーントゥバーチョコレート)」です。

ガーナ、ベトナム、トリニダード・ドバゴなどからカカオ豆を仕入れ、それぞれの産地によって違う個性を活かしたチョコレートを手作りして製造しています。フルーティーな味わい、少し大人なスモーキーな風味、酸味のある切れ味の良い風味などが楽しめる5個入りのバラエティBOXです。他のエントリー商品も含めて、ぜひご賞味ください。

■他のエントリー商品やコンテスト詳細は、こちらをご覧ください。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/documents/20231120_14483_1.pdf

⑪ 障害者芸術作品巡回展のお知らせ

兵庫県では、障害のある方の芸術作品をより多くの方々に知っていただく機会をつくろうと、県障害者芸術・文化祭の入賞作品や、地域の障害福祉事業所等で制作された作品の巡回展を県内 10 カ所で開催しています。

11月28日(火)から12月1日(金)まで丹波の森公苑 展示ギャラリーにおいて、12月8日(金)から11日(月)までイオンモール神戸北で開催します。巡回展もあと2会場を残すのみとなりました。

みなさんのご来場をお待ちしております。

◇丹波の森公苑 展示ルーム

■日 時:11月28日(火)～12月1日(金)10:00～17:00まで
(初日は 12:00～。最終日は 15:00 まで)

※期間中は兵庫県立歴史博物館から提供いただいた城崎出身で聴覚障害があったとされる画家、斎藤崎庵(きあん)の作品パネルも展示します。

■場 所:丹波の森公苑 展示ギャラリー
(丹波市柏原町柏原 5600)

◇イオンモール神戸北 専門店街 2 階

すずらんブリッジ・さざんかブリッジ

■日 時:12月8日(金)～12月11日(月) 10:00～17:00
(初日は 12:00～。最終日は 15:00 まで。)

■場 所:イオンモール神戸北 専門店街2階
すずらんブリッジ・さざんかブリッジ
(神戸市北区上津台 8-1-1)

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター
(兵庫県ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

⑫ 「兵庫県障害者アートギャラリー」の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、12月24日(日)まで「僕にとっては暇つぶし ただただ好きで、こころの思うまま 感じるまま作品展」を開催しています。

11月29日(水)からは作品を入れ替え、テーマが「冬」の作品が並びます。日々の生活のなかでそれぞれの想いを表現し、制作された多くの作品を展示します。

壮大な暇つぶしの世界をどうぞご鑑賞ください。

◇「僕にとっては暇つぶし ただただ好きで、こころの思うまま 感じるまま作品展」

■日 時:開催中～12月24日(日)10:00～18:00まで

月曜日休館(祝日の場合は翌日)

■場 所:兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー本館1階
(神戸市灘区原田通 3-8-30)

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2438>

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

⑬ 福祉のまちづくり研究所創設 30 周年記念式典の開催

先日、創設 30 周年を迎えた福祉のまちづくり研究所では下記イベントを開催します。

■日 時:令和5年11月29日(水) 13:30~16:00

■場 所:兵庫県公館

(神戸市中央区下山手通4丁目4番1号)

<神戸市営地下鉄 県庁前駅 東出口2すぐ、JR/阪神 元町駅 西口 北へ徒歩5分>

※正面玄関より建物にお入りください。ただし車椅子でアクセスする方は東玄関が便利です。

■内 容:祝辞、記念講演、近年の研究成果の実物展示

【記念講演 1】澤村誠志 氏

「福祉のまちづくり研究所創設のころ、そして今想うこと」

【記念講演 2】山崎 徹 氏

「これからのモノづくりとオープンイノベーション」

【展 示 機 器】 フレイル判定椅子、排泄動作支援機器、坂道のきつさがわかる地図アプリ、小児スポーツ導入用軽量車椅子、高齢者向け反射神経ゲーム、高齢者向けバランス機能ゲーム

■お問合せ

兵庫県立福祉のまちづくり研究所 ロボットリハビリテーションセンターロボットリハビリテーションセンター課

TEL 078-925-9283

Mail info00@assistech.hwc.or.jp

⑭ キッザニア甲子園で「障害児等の職業体験」の実施

兵庫県では、障害児が働くことの大切さを学び未来の夢を育む事を目的に、障害児や保護者、ボランティア等が交流し、「互いに支えながら共に生きる」という考え方を共有するため、職業体験型テーマパーク「キッザニア甲子園」で、職業体験の機会を提供する事業を開催しています。

今年度は12月2日(土)に開催予定です。

■お問合せ

兵庫県ユニバーサル推進課 障害者就労支援班

TEL 078-362-3261 FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

⑮ ひょうご福祉事業所フェスティバルの開催

第3回ひょうご福祉事業所フェスティバルを12月9日(土)10:00~16:00 まで、神戸ハーバーランド スペースシアターにて開催します(主催:ひょうご福祉事業所フェスティバル実行委員会)。

県内の社会福祉法人、NPO 法人が運営する就労継続支援 A、B 型事業所などが参加し、約30のお店が並びます。クッキーやパン、バックや小物、野菜等販売予定ですので、ぜひお越し下さい!

■出店予定事業所や出品商品等は、こちらをご覧ください。

<https://www.kobe-kousei.com/news/411/>

⑯ 兵庫県点字図書館からのお知らせ

兵庫県点字図書館では、視覚障害等で読書が困難な方に対して、点字及び録音図書の貸出を行っています。

当館の蔵書以外にサピエ図書館(インターネットを通して、全国の情報提供施設・団体、公共図書館をつないでいるネットワーク)を通じて取り寄せることが可能です。

また、サピエ図書館で音声化されていない専門書、資格試験、参考書などについては、利用者からのリクエストを図書選定等委員会に諮り、選定された図書をテキスト化しています。製作したテキストデータは、希望者だけでなく国立国会図書館に提供して全国の方にご利用いただいています。

また、すでに音声化されていてテキスト化できない図書の対策として、ebook を当館にて購入し、当館登録者で ebook の聴読を希望する方には聴読室でお聞きいただくか、個別にID、パスワードを発行しネットを活用してお聞きいただいています。

登録ご希望の方は兵庫県点字図書館までご連絡ください。

製作したテキストデータタイトル及び ebook1, 716タイトル(令和5年9月末現在)は兵庫県点字図書館ホームページにてご確認ください。

ホームページ <https://kensikyo.sakura.ne.jp/library.html>

■電話番号:078-221-4400

■開館時間:9:00~17:00 月曜日から金曜日

(祝祭日、年末年始を除く)

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで
兵庫県福祉部ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp
